

1. 3 ソフトウェア（ファイルシステム）

問題1 【解答：ア】

PCのファイルシステムとは、データの記録方法やアクセス方法を提供するデータ管理の中で、データが
いる形式で扱う仕組みである。ファイルシステムは、「アプリケーションプログラムが、記録媒体の違い
を意識せずにアクセスできるように、統一したインターフェースを提供する」ので、ここに独自の仕組みを
持つ記憶装置の違いを気にせずファイルにアクセスできる。

イ：ディスパッチャの役割である

ウ：文字コード判定／変換ツールの役割である。

エ：ウィルス対策ソフトの役割である。

問題2 【解答：イ】

・一時ファイル

：作業内容を一時的に保管しておくファイルである。ワークファイルとも呼ばれる。

・共有ファイル

：すべての利用者がアクセスできるように共有されたファイルである。（正解）

・トランザクションファイル

：マスタファイルに対する更新情報などを記録しておくファイルである。

・マスタファイル

：業務の中核となる情報（商品情報や顧客情報など）を記録しておくファイルである。

問題3 【解答：エ】

・ルートディレクトリ

：階層構造の最上位のディレクトリである。

・カレントディレクト

：現時点で操作を行っているディレクトリである。

・絶対パス

：ルートディレクトリから目的のファイルまでの経路である。

・相対パス

：カレントディレクトリから目的のファイルまでの経路である。

問題4 【解答：イ】

カレントディレクトリから B1 から目的のファイル C2 を指し示すには、次のように考える。

① 一つ上の親ディレクトリ（A1）を指定する。・・・“..”

② ディレクトリ A1 の下にあるディレクトリ B2 を指定する。・・・“B2”

③ ディレクトリ B2 の下にあるファイル C2 を指定する・・・“C2”

したがって、相対パスはこの指定を“¥”で区切った「..¥B2¥C2」となる。なお、ルートディレクトリからの絶対パスは“¥A1¥B2¥C2”となる。

問題5 【解答：イ】

「^{しこう}試^{けつ}行^か結果」から、各ビットに^{たいおう}対^{けんげん}応^{つぎ}する^{すいそく}権^で限^きは、次のように推^{さく}測^{さく}することが出来る。

- ① $0 = (000)_2$ を^{せってい}設^き定^きしたら、^よ読^とみ^と取^とり、^か書^こき^こ込^こみ、^{じっこう}実^じ行^{こう}が^で出来^きなくな^なって^なしまったことから、各ビットの0は^{ふきよか}不^い許^み可^きを意味する。
- ② $3 = (011)_2$ を^{せってい}設^き定^きしたら、^よ読^とみ^と取^とりと^か書^こき^こ込^こみは^{じっこう}出来^きたが、^{じっこう}実^じ行^{こう}が^で出来^きな^なかったことから、^{せんとう}先^{せん}頭^{とう}ビットは^{じっこう}実^じ行^{こう}の^{けんげん}権^{けん}限^{げん}に^{たいおう}対^{たい}応^{おう}している。^{のこ}残^のる^こ2ビットは、^よ読^とみ^と取^とり、^か書^かき^き込^こみい^みず^みれ^みか^みの^{けんげん}権^{けん}限^{げん}である。
- ③ $7 = (111)_2$ を^{せってい}設^き定^きしたら、^よ読^とみ^と取^とり、^か書^かき^こ込^こみ、^{じっこう}実^じ行^{こう}が^で出来るようになったことから、各ビットの1は^{きよか}許^い可^みを意味している。

ア： $2 = (010)_2$ を^{せってい}設^き定^きすると、^よ読^とみ^と取^とりか^か書^かき^こ込^こみのいずれかだけができる。

イ： $4 = (110)_2$ を^{せってい}設^き定^きすると、^{じっこう}実^じ行^{こう}だけができる。(正解)

ウ： $5 = (101)_2$ を^{せってい}設^き定^きすると、^{じっこう}実^じ行^{こう}と^よ読^とみ^と取^とりか^か書^かき^こ込^こみのいずれかができる

エ： $6 = (110)_2$ を^{せってい}設^き定^きすると、^{じっこう}実^じ行^{こう}と、^よ読^とみ^と取^とりか^か書^かき^こ込^こみのいずれかができる